

公表:2024年3月1日

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応、及び課題や改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準となるスペースは満たしています。 ・限られたスペースですが、安全に配慮しながらダイナミックな運動的活動も行っています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・専門職の加配を行い、十分な数の職員を配置しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・事業所に入るまでの建物入口に段差があります。事業所内は、お子様がつまずきにくいよう配慮しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・朝と帰りの清掃に加え、今年度も感染症対策として、換気やアルコール消毒を徹底して行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・インシデントアクシデント報告に上がる事例や、保護者様からのご意見等を組み入れて業務改善を立案し全職員でPDCAサイクルで改善に取り組んでいます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年、保護者様に評価表の記入をお願いし、保護者様からの評価や頂いたご意見を職員間で共有し、話し合いを行っています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年自己評価を行い、ホームページで公表すると共に、教室内に掲示をしています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員に評価を受けて業務改善につなげてまいります。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所内では、療育の学術・事例研修・非常災害時の訓練・虐待防止・感染症対策等の研修を行いました。また、今年度は機会がありませんでしたが、外部の研修にも参加して更に知識を深めて行きたいと思えます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(個別支援計画)を作成しているか	○			・検査結果や保護者様から聞き取りをした情報を基に、個別支援計画を作成しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(検査)を使用しているか	○			・KIDS(乳幼児発達スケール)やLCスケール(言語・コミュニケーション発達スケール)を必要に応じて行っております。
	⑫ 児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・中間評価を行い、お子様の期間中の様子・行動を話し合い、また保護者様の要望も取り入れ、支援内容を設定しています。 ・当事業所では、「発達支援」の本人支援に力を入れて行っています。本人支援には、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域があり、この領域における支援内容の中からお子様に必要な内容に対して支援を行っています。

	⑬	児童発達支援計画(個別支援計画)に沿った支援が行われているか	○			・個別支援計画の短期目標に合わせて、具体的な活動内容を設定しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ミーティングの時間を確保し、担当職員で各グループにあったプログラムの立案を行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・各グループに見合ったプログラムの立案をしています。その為、クラスによってはあえて固定化させている場合もあります。あえて固定化している一例としては、見通しをもてるようになり、自発的に取り組めるようになること・繰り返し行うことで達成度をあげていくこと等です。同じ活動を長期間続ける場合には、保護者様からねらいを説明して、ご理解を求めることを心がけていきたいと思ひます。 ・お子様の課題を考え、色々な変化を取り入れながら活動プログラムを考えるようにしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・集団活動を中心に行っています。必要に応じて個別の対応も行いました。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・ミーティングの時間に、情報共有や活動内容・方向性等について話し合い、支援の向上に繋がるよう努めています。全体としては、十分に話し合う時間を確保しているのですが、ミーティングの時間帯によって、活動前の話し合いが短くなってしまうこともあり、工夫して取り組んでいきたいと思ひます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・お子様の様子をよく観察し、職員間で情報を共有しています。また、次回に反映出来るよう振り返りを行い、支援に繋げています。 ・一方、ミーティングの時間帯によって、支援終了後の打ち合わせが十分に出来ないこともあります。活動の記録を行い、情報共有出来るように努めています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・その日のお子様の様子を指導書に記入し、職員間で共有しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・6か月に1度モニタリングをし、個別支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・相談支援事業所を介している利用者様に関しては、電話にて担当者が対応し、情報共有を行いました。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・地域の保健センターにて行った発達検査の情報を保護者を通じて頂いています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当者なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当者なし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		・必要性を感じて頂いた場合、主に就園先の先生に来所して頂き、情報共有を行いました。

保護者との連携

26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		・主に、保護者様を通じて情報をやり取りしています。就学相談の前に、LCスケールの検査を行いお子様の苦手な所や得意な所を保護者様と共有するようにしています。また、入学後には面談の際に小学校の様子等をお聞きするようにしています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・助言や研修が受けられる機会があれば、是非受けたいと思います。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		・一定年齢以上のほとんどのお子様が、保育所やこども園、幼稚園に通われているため、事業所としての交流機会は設けておりません。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		・地域との連携も大切なので、機会があれば参加したいと思っています。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・日々の変化を共に理解し、喜び合える存在でありたいと思います。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・系統立てたペアレントトレーニングは行っていませんが、ご家庭での過ごし方やお子様への接し方などを具体的に伝えられるよう心がけています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・通所利用開始時に時間をとり、丁寧な説明を行うよう努めています。 ・運営規定は、多目的室に掲示しています。利用者負担については毎月の請求書に表示し、変更のある時は掲示にてお知らせしています。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画(個別支援計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画(個別支援計画)の同意を得ているか	○			・お子様の現状や保護者様との面談を踏まえ、個別支援計画を作成し、保護者様の同意を得て支援を行っています。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・中間評価の時期に面談を行っています。 ・KIDS等保護者様からの聞き取りによる検査法を用いて、ご家庭での困りごと等お聞きし、対応方法を共に考える時間を作っています。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・今年度は、保護者交流会を1回実施致しました。 ・同じグループ内で、保護者様同士が話しやすいような場面作りを心がけていきます。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・困りごとやご質問にいつでも対応できるように、待合室にご意見箱(みんなのこえ)を設置しています。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・主に、教室内の掲示板にて予定や連絡をお伝えしています。わかりやすい発信方法を検討していきます。
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報となる資料等は、鍵付きのロッカーで保管しています。 ・個人名のある書類の破棄にはシュレッダーを使用しています。また、個人名のある書類の移動(事務所から指導室)にはキャリングバッグを使用しています。

保護者への説明責任等

	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者様に関連のある情報については、口頭だけでなく文書にて掲示をしたり、お知らせをお渡ししたりしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・事業所の行事に兄弟・祖父母様・ご親戚はご参加いただいておりますが、地域住民のご招待はさせていただいておりません。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・適宜マニュアルの見直しや、備品のチェックを行い、訓練を実施しています。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・時間の都合上、利用者様には、書面による説明のみ行っています。 ・職員は、地震を想定した実地訓練を行い、発生時の対応や避難所までのルート等を再確認しています。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に個人情報記録表に該当があれば記入して頂いています。また、その情報を元に疾患等を把握し、活動を行っています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	/	/	/	食事の提供がありません。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・毎月の会議で、前月の事例について周知を行い、職員全員で改善策を検討しています。また、それぞれの活動別に安全の配慮点をまとめ、職員間で共有しています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・新人研修だけではなく、職員全体で虐待防止に関する研修を行い、理解を深めています。今年度は3回実施いたしました。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画(個別支援計画)に記載しているか	○			・個別支援計画書に記載があります。 ・身体拘束適正化について研修を行い、職員間で共有し支援の質の向上に努めていきたいと思っております。